

今後の行財政改革の進め方について

1 これまでの経緯

本市では平成17年の合併後、「菊川市行財政改革大綱」及び「集中改革プラン」を策定し、事務事業を見直すことで無駄の削減、効率性の改善を図り、市民との協働による新しい公的活動の導入を進めた。その成果検証を行い継続的な取り組みとして、平成22年度に「第2次菊川市行財政改革大綱」及び「第2次集中改革プラン」を策定し、コミュニティ協議会の活性化や市債残高の縮減など行財政改革に取り組んだ。

現在、行政の効率化や財政基盤の安定化、公共施設など限られた経営資源を有効活用する視点を取り入れ、「健全な行財政基盤の確立」を目的とした、「菊川市新行財政改革推進方針」を策定し、「菊川市CAPDo!」を実施計画として、平成28年度からの6年間で2年ずつ前・中・後期に分けて取り組んでいる。

表1：菊川市における行財政改革の推移

	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6	R7
総合計画			第1次菊川市総合計画 (前期)					第1次菊川市総合計画 (後期)					第2次菊川市総合計画								
行財政改革 大綱・方針	第1次 菊川市行財政改革大綱					第2次 菊川市行財政改革大綱					菊川市新行財政改革推進方針										
実施計画	第1次 集中改革プラン					第2次集中改革 プラン(前期)			第2次集中改革 プラン(後期)			菊川市 CAPDo! (前期)		菊川市 CAPDo! (中期)		菊川市 CAPDo! (後期)					

2 令和4年度からの次期（第4期）行財政改革の進め方について

「菊川市新行財政改革推進方針」の計画期間が令和3年度をもって終了することから、令和3年度中に以下の状況を踏まえ、今後の行財政改革の進め方について検討を行っていく。

○県内他市においては、行財政改革の取り組みを総合計画の進捗状況と合わせて管理しているところが多い（表2参照）。
○総合的な取り組みではなく、特定の分野、事業に特化して集中的に取り組む、目標を明確にしている自治体もある。
○菊川市CAPDo!にあるメニューを含む総合計画の事業を行政評価により、指標を設定し評価していく（行政経営システムの導入）。

3 令和3年度行財政改革推進懇話会について

現在の懇話会委員の任期は、令和2年度末をもって満了となる。このことから、懇話会は令和2年度末で一時休止とし、今後の行財政改革の進め方に併せ進捗管理の方法、組織についても検討する。

なお、「菊川市CAPDo!後期計画」の進捗管理については、本部会により管理する。

表 2：県内他市の状況（各市担当課への聞き取り）

	市町村名	現在の行 革の有無	今後の行財政改革方針の方向性		
			総合的な取 り組み	事業特化	総合計画
	菊川市	○			
1	掛川市	×		○	
2	島田市	○			○
3	御前崎市	×			
4	牧之原市	×			
5	袋井市	○			○
6	磐田市	○			
7	湖西市	○			○
8	藤枝市	○			○
9	焼津市	○			○
10	沼津市	○			○
11	三島市	○		○	
12	熱海市	×			○

※現在の行革の有無：本市のように計画による行財政改革への取り組みの有無